

# タイ国内に居住するミャンマー難民 のための職業訓練事業

2017年度 完了報告書



ミャンマー政府認可法人 メコン河流域圏農業・教育開発センター

## 1. 基本情報

(1) 事業名	タイ国内に居住するミャンマー難民のための職業訓練事業
(2) 事業地	タイ王国チェンマイ県
(3) 事業期間	2017年3月26日～2018年3月25日
(4) 団体概要	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 団体名：ミャンマー政府認可法人 メコン河流域圏農業・教育開発センター (Greater Mekong Subregion Agriculture and Education Development Center)</li><li>○ 住所：245 (2nd Floor) Ngu Wer Street Ahlone Township Yangon Myanmar</li><li>○ 事業責任者：井本勝幸</li></ul>

## 2. 事業背景とその目的

ミャンマーでは第2次世界大戦終結直後から、ビルマ族を中心とする軍事政権と少数民族武装勢力の内戦が続き、内戦によるタイへの難民流入は1980年代に始まり、現在もカレン族、モン族といった少数民族を中心とする難民10万人以上がタイ国内の難民収容キャンプで暮らしている。

2016年6月にタイを訪問したスー・チー国家顧問兼外相は、タイで暫定政権のプラユット首相と会談し、難民の帰還を進めることで合意した。そして2016年10月にタムヒン難民キャンプから6名、ヌボ難民キャンプから65名合計71名が、国境を越えてミャンマーへ帰還した。帰還に当たっては、タイ政府、ミャンマー政府、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR: United Nations High Commissioner for Refugees) の連携により実施され、両政府の合意の下での帰還は初のケースとなった。

またグローバル化進展とともに、新興国ではより高い賃金、より多くの就労機会を求めて自国以外で働く人が増加しており、ミャンマーからの移民労働者は約314万人に上り、その内タイが約189万人と全体の約6割を占めている。しかし、移民労働者にとってタイでの仕事は、建設業・漁業・農業などに限定され、いずれの仕事でも、生活に困窮して働きにきていることの足元を見られ、現場では過酷な労働を強いられているケースも少なくない。(3K: 汚い、危険、キツイ) このような現状にスー・チー国家顧問兼外相は、タイ政府に対して、ミャンマーからの移民労働者の労働環境を改善するように何度か求めている。

ミャンマー経済は、2011年の民主化以降、順調な拡大を続けており、現在も高成長を続けているが、依然として、賃金は周辺国と比較して低く、雇用機会も少ない状況にある。ミャンマー政府は雇用創出に重点を置いて農業・漁業改革などを中心に政策を実行しようとしているが、そのスピードは遅く、成果がでるまでには時間を要する状況にあり、移民労働者を多く出している少数民族との和平問題に関しても、解決に向けて会合などを開催しているが、真の解決までには相当の時間を要する状況である。

難民自身は、帰還への希望を持っている人もいるとはいえ、まだ多くの人々が帰還を希望しない、または決めかねている状況にある。タイ国内に居住するミャンマー避難民が望んでいるのは、「二度と難民にならない」ことであり、帰還に向けては、真の和平が訪れ、身の安全が保障され、そして生計が立てられることである。

ミャンマー避難民の内地帰還を実現するためには、ミャンマー国内側の環境整備が必要であると同時に、タイ国内の避難民に対して、帰還後に就業できるように必要な知識や技能を身につけさせることが重要である。

### 3. 避難民の概要

#### a. 2008 年度タイ国内の難民収容キャンプ(タイ北西部に計 9 ヶ所)

キャンプ名	難民数
ナイソーイ・キャンプ	18,302
メースリン・キャンプ	2,957
メーラマールアン・キャンプ	10,271
メーラーオーン・キャンプ	12,074
メーラー・キャンプ	35,680
ウムピウム・キャンプ	19,250
ヌポー・キャンプ	13,373
ドーンヤン・キャンプ	37,175
タムヒン・キャンプ	5,761
合計	154,843 名

出典：UNHCR (2008)

#### b. ミャンマーからの移民労働者

##### i. 労働者の約 60%がタイへ移民

移民先	移民労働者数
<b>タイ</b>	<b>189 (60%)</b>
サウジアラビア	60 (19%)
その他	65 (21%)
合計	314 万人

#### c. 東南アジア各国の一番多い移民先と移民労働者数 (2013 年現在)

- i. タイへの移民労働者が多い背景には、タイが隣国であり経済発展している最も身近な国であることに加え、タイ側の外国人労働者受け入れに関する基本方針も影響していると思われる (1. 国内の安全を損ねない、2. タイの労働者の雇用機会を奪わない、3. 人件費のより安い労働者を雇用すること)

国名	一番多い移民先	移民労働者数 (人、2013 年現在)
フィリピン	米国	1,998,932
ベトナム		1,381,076
タイ		267,919

<u>ミャンマー</u>		<u>1,892,480</u>
ラオス	<u>タイ</u>	926,427
カンボジア		750,109
インドネシア	サウジアラビア	1,500,000
マレーシア	シンガポール	1,044,994
シンガポール	オーストラリア	63,077
ブルネイ	インド	25,86

出典：世界銀行

- d. タイ国内に居住するミャンマー避難民数
  - i. タイ国内に居住するミャンマー避難民は不法滞在者・移民労働者も含めると200～300万人といわれている
- e. タイ国内に居住するミャンマー避難民の平均所得（月給）
  - i. 正確な統計数値はないが、彼らの平均所得を把握する一材料として、彼らの大半はタイの最低賃金（日給）である300バーツ（≒1,020円）以下で働いている。仮に日給が150バーツとすれば、150バーツ×25日間＝3,750バーツ（≒12,750円）となる

#### 4. 事業概要

- a. 上位目標を「農産業を通じたタイ国内に居住するミャンマー難民の生活向上」と設定し、それを達成するためにタイ国内の職業訓練センター2ヶ所にて生活改善に繋がる農産物の付加価値・換金率を向上させるための原材料の加工技術及び販売ノウハウに関する職業訓練を実施した
- b. 対象者は主にタイ国チェンマイ県に居住する避難民約48,000人
  - i. チェンマイ県メーアーイ郡、フアーン郡、ウィエンヘーン郡、オムコーイ郡、メーチェム郡、ホート郡などに居住する避難民を対象
  - ii. 次年度(2018年度)はターク県、カンチャナブリ県、チェンライ県、メーホンソーン県へと対象を広げ、より多くの避難民へ職業教育の機会を提供する予定

c. 参加者の集め方

i. 少数民族（避難民）と関係が深い団体経由で参加者を募った。主な団体は以下の通り

1. United Nationalities Federal Council (UNFC)
2. Karen Agriculture Department (KAD)
3. Mon Relief Development Committee (MRDC)
4. Karenni Social Welfare & Development Center (KSWDC)
5. Triple Agriculture Development Center (TADC)

事業分類	事業内容	事業選定理由	協力団体
製糸	オーガニックコットンを原料とした糸・布の加工品の技術習得研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 帰還後でも原材料（オーガニックコットン、乾燥楮）の栽培・入手が容易</li> </ul>	HQ Co.,Ltd <a href="http://www.hqpapermaker.com/">http://www.hqpapermaker.com/</a>
製紙	乾燥楮（こうぞ）を原料としたパルプ・紙の加工品の技術習得研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小資本で始められる</li> <li>○ 比較的加工技術の習得が容易</li> <li>○ オーガニック製品の需要増</li> </ul>	Planeta Co.,Ltd <a href="https://planeta-organica.com/">https://planeta-organica.com/</a>
ふりかけ	現地の消費者の嗜好に合ったオリジナル商品の加工技術研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 軽量で栄養価が高く、長期間保存可能という利便性</li> <li>○ 学校や病院、さらに国際食糧支援機関と提携した栄養補助食品としての汎用性</li> </ul>	国際ふりかけ協議会 (IFA) <a href="http://www.ifa-furikake.jp/">http://www.ifa-furikake.jp/</a>  通宝海苔 (株) <a href="http://www.tuhonori.co.jp/">http://www.tuhonori.co.jp/</a>

## 5. 活動実績

### a. 年間実施スケジュール

	製糸					製紙			ふりかけ			
	指導者 スキル アップ	初級	中級	上級	販売 ノウハウ	指導者 スキル アップ	加工	販売 ノウハウ	指導者 スキル アップ	加工	食品衛生	販売 ノウハウ
2017年4月												
2017年5月	○					○			○			
2017年6月										○	○	
2017年7月		○					○					
2017年8月		○			○		○	○				○
2017年9月												
2017年10月												
2017年11月												
2017年12月			○				○					
2018年1月												
2018年2月					○			○		○	○	○
2018年3月	○			○		○			○			

### b. スケジュール詳細及び研修内容

- i. 1回あたりの研修期間は約1週間とし、職業訓練センターにて泊まり込みで実施した

事業分類	研修内容	実施期間	
共通	指導者スキルアップ	2017年5月2日	2017年5月8日 7日間
ふりかけ	乾燥機の使用方法及び一般的な食品衛生管理	2017年6月8日	2017年6月15日 8日間
製糸	初級：種取り・綿打ち	2017年7月12日	2017年7月18日 7日間
製紙	乾燥こうぞ蒸し・皮むき・皮干し・水洗い・煮沸・灰汁抜き	2017年7月12日	2017年7月18日 7日間
製糸	初級：種取り・綿打ち及び一部糸紡ぎ（梳綿・練条・粗紡・精紡・巻き返し）	2017年8月2日	2017年8月9日 8日間
製紙	紙叩き・紙漉き（染色含む）・圧搾・乾燥	2017年8月2日	2017年8月9日 8日間
共通	販売ノウハウ（仕入れ・生産・輸送・在庫管理）	2017年8月15日	2017年8月17日 3日間
製糸	中級：糸紡ぎ（梳綿・練条・粗紡・精紡・巻き返し）	2017年12月1日	2017年12月8日 8日間
製紙	基本紙・デザイン紙・和紙製品（傘・扇子）	2017年12月1日	2017年12月8日 8日間
共通	販売ノウハウ（マーケティング・販売・収支管理）	2018年2月2日	2018年2月4日 3日間
ふりかけ	オリジナル商品加工	2018年2月10日	2018年2月16日 7日間
共通	指導者スキルアップ	2018年3月3日	2018年3月9日 7日間
製糸	上級：草木染め	2018年3月10日	2018年3月15日 6日間

## 6. 裨益者数

- a. 直接裨益者数 (研修修了生) : 295 名
- b. 研修回数 : 13 回
- c. 平均研修参加人数 : 約 23 名
- d. 間接裨益者数 : 6,933 名
  - i. 上記研修修了生 295 人がそれぞれ 5 人に学んだ技術や知識を普及させることを想定。またミャンマー少数民族地域の平均世帯同居数は 4.7 名 (2014 年国勢調査) であることから、本事業での間接裨益者数を  $295 \times 5 \times 4.7 = 6,933$  人とした
- e. 合計裨益者数 (直接+間接) : 7,228 名

事業分類	研修回数	参加人数
共通 (指導者スキルアップ)	2	6
共通 (販売ノウハウ)	2	27
製糸	4	110
製紙	3	91
ふりかけ	2	61
直接裨益者数	13 回	295 名
間接裨益者数		6,933 名
合計裨益者数		7,228 名

## 7. 事業評価 1 (達成された成果)

- a. 目標 : 生活改善に繋がる各種加工技術を習得する
- b. 指標 : 参加者のうち、**約 5 割**が市場クオリティーを満たした製品を作成できる状態にする
- c. 確認方法 : 市場クオリティーを満たした製品かどうかを外部専門家が判定
  - i. 製糸 : 事業経営者、専門家による判定
  - ii. 製紙 : 事業経営者、専門家による判定
  - iii. ふりかけ : 事業経営者、専門家による判定
- d. 判定基準 : 1~10 段階評価とし、**6 点以上**を市場クオリティーを満たした製品と判定
  - i. 製糸 : 太さ、強さ (切れにくい) 、滑らかさ (毛玉がない) 、色合い (染色の均一性) など
  - ii. 製紙 : 薄さ、強さ (破れにくい) 、滑らかさ (玉がない、水分量) 、色合い (染色の均一性) など
  - iii. ふりかけ : ラッピング (密封状態) 、味わい・風味など

e. 判定結果

i. 製糸：参加者の約6割が市場クオリティを満たしている(6点以上)

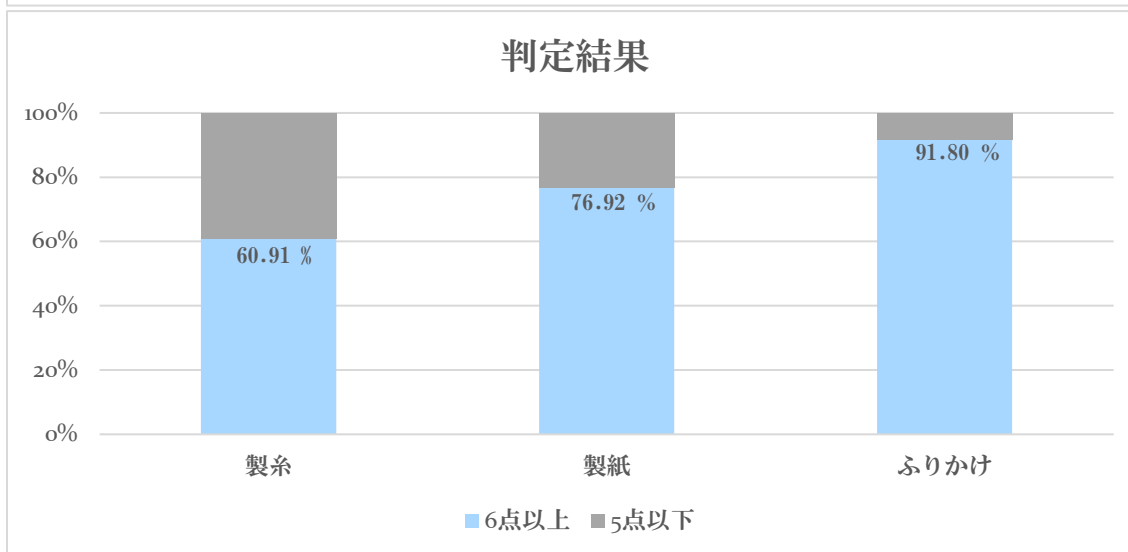
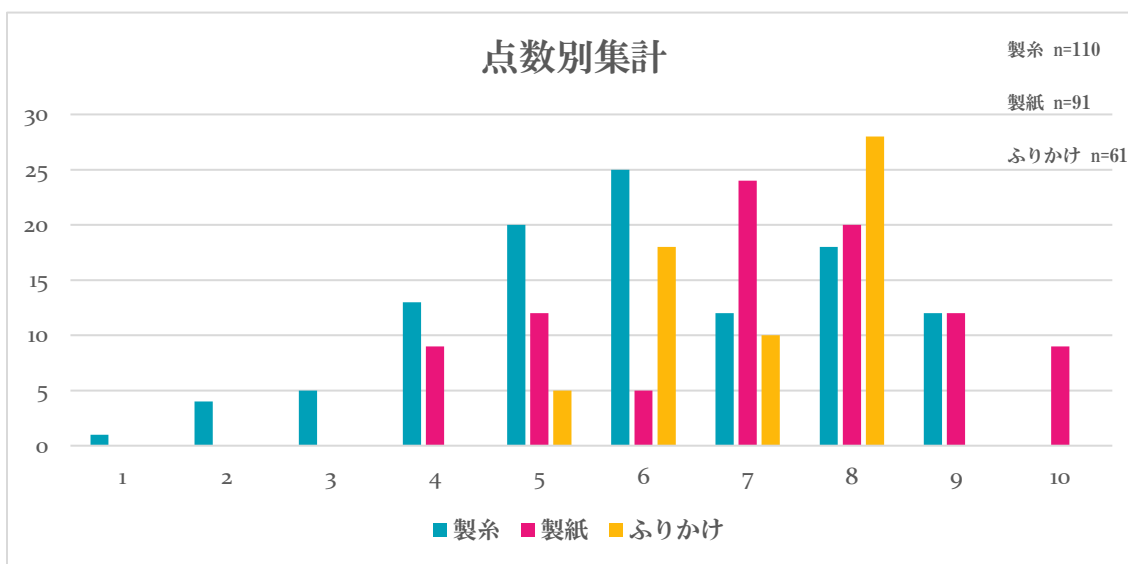
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
n	1	4	5	13	20	25	12	18	12	0	110
%	1%	4%	5%	12%	18%	23%	11%	16%	11%	0%	100%

ii. 製紙：参加者の約8割が市場クオリティを満たしている(6点以上)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
n	0	0	0	9	12	5	24	20	12	9	91
%	0%	0%	0%	10%	13%	5%	26%	22%	13%	10%	100%

iii. ふりかけ：参加者の約9割が市場クオリティを満たしている(6点以上)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
n	0	0	0	0	5	18	10	28	0	0	61
%	0%	0%	0%	0%	8%	30%	16%	46%	0%	0%	100%





## 8. 事業評価 2 (副次的成果)

- a. 研修生が作成した製品の一部を販売
- i. 綿糸 85 キロ、染め糸 70 キロ
  - ii. 楮紙 1,370 枚 (70cm×50cm)
  - iii. チェンマイ市内の日本食レストランへふりかけ 1,202 パック・745 ボトル

	単価	数量	売上
綿糸	340 / kg (≒1,156 円)	85 kg	28,900 パーツ (≒98,260 円)
染め糸	640 / kg (≒2,176 円)	70 kg	44,800 パーツ (≒152,320 円)
楮紙	70 THB / 枚 (≒238 円)	1,370 枚	95,900 パーツ (≒326,060 円)
ふりかけ(パック)	20 THB / 25g (≒68 円)	1,202 パック	24,040 パーツ (≒81,736 円)
ふりかけ(ボトル)	80 THB / 100g (≒272 円)	745 ボトル	59,600 パーツ (≒202,640 円)
合計			<b>253,240 パーツ</b> (≒861,016 円)

❖ 売上金は研修会開催費（研修用材料費、食費等）に充当した

## 9. 事業評価 3 (アンケート)

- a. 趣旨：現時点で、収入の増加額を成果として計測するのが難しいため、研修修了生へスコアリング形式のアンケートを実施することで、参加者の立場から有益な事業が実施できていたかを評価した
- b. 満足度と満足に対する影響因子（重要度）の 2 軸を評価指標とし、重回帰分析から CS ポートフォリオ（顧客満足度）を作成した



- c. アンケート内容：
- i. 「満足度」：研修についての総合満足度
    - 質問：研修に参加して、全体的にどの程度満足しましたか？
    - 回答：上記質問に対して、以下から選択して回答

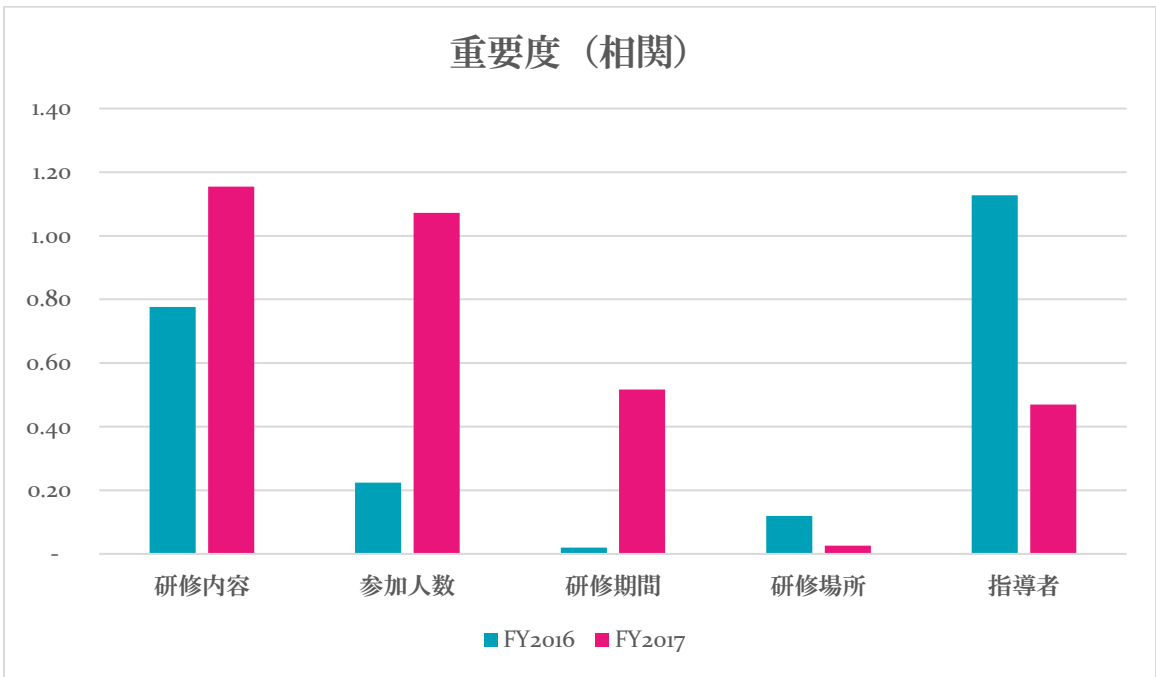
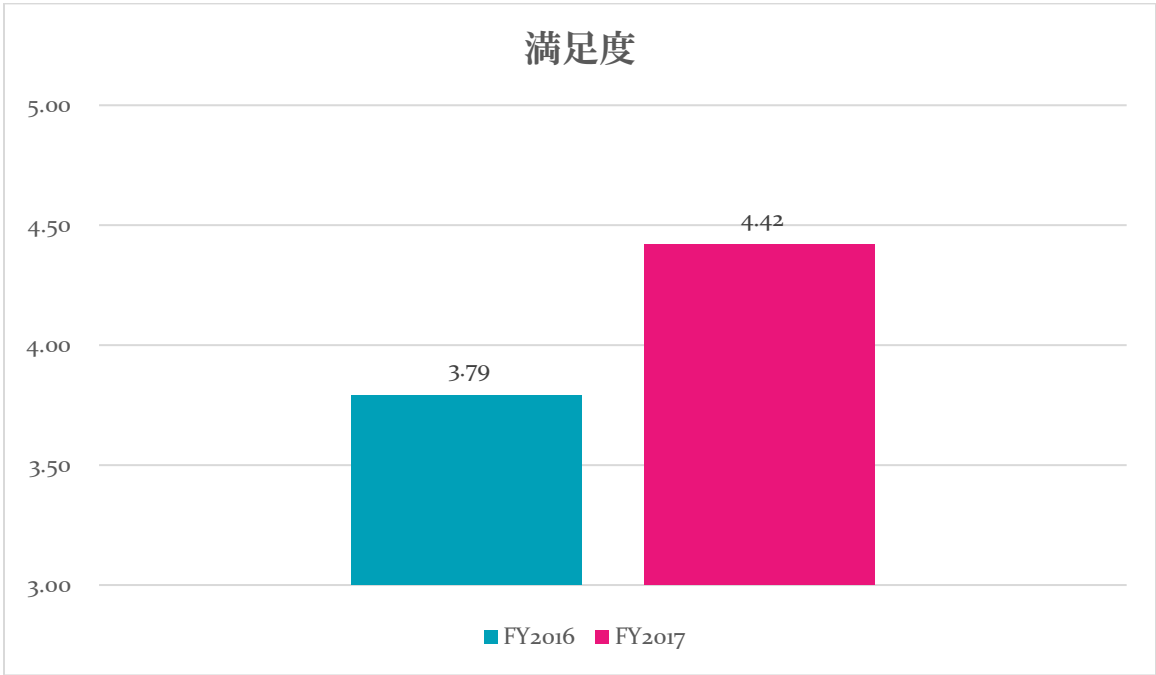
1. 非常に不満がある
  2. 不満がある
  3. どちらともいえない
  4. 満足している
  5. 非常に満足している
- ii. 「重要度」：各項目が総合満足度にどれくらい寄与しているか（相関があるか）
- 質問：
    - 研修内容&レベル（難易度）について、どの程度満足しましたか？
    - 研修の参加人数について、どの程度満足しましたか？
    - 研修期間について、どの程度満足しましたか？
    - 研修開催場所&研修場所の環境について、どの程度満足しましたか？
    - 指導者スキルについて、どの程度満足しましたか？
  - 回答：上記質問に対して、それぞれ以下から選択して回答
    1. 非常に不満がある
    2. 不満がある
    3. どちらともいえない
    4. 満足している
    5. 非常に満足している

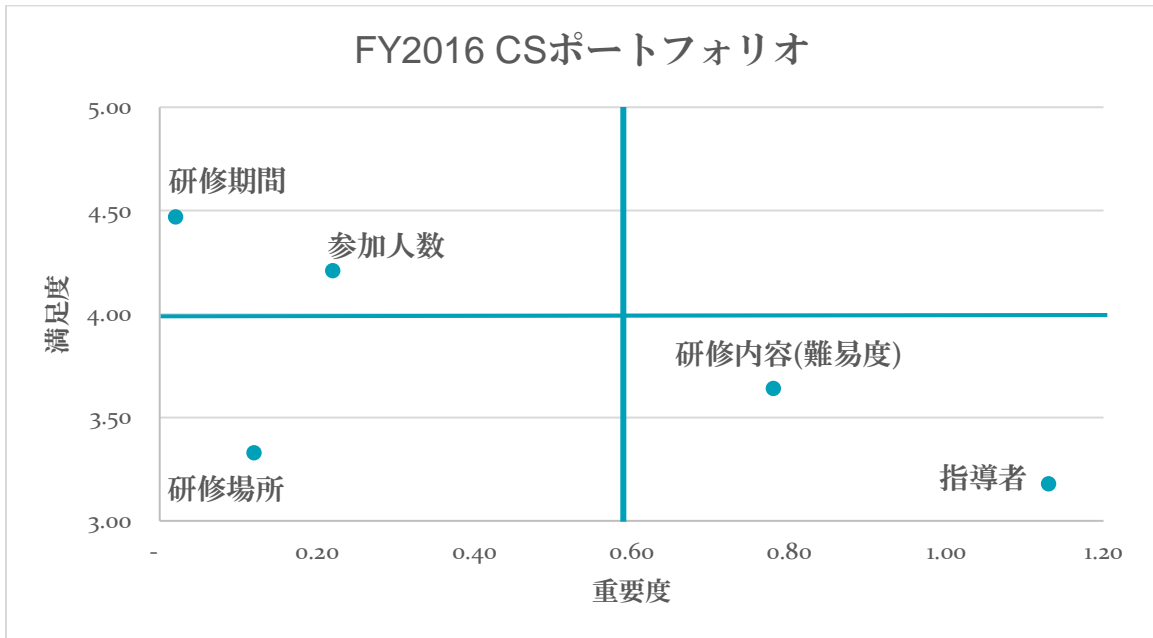
d. 有効回答数：186

e. アンケート結果

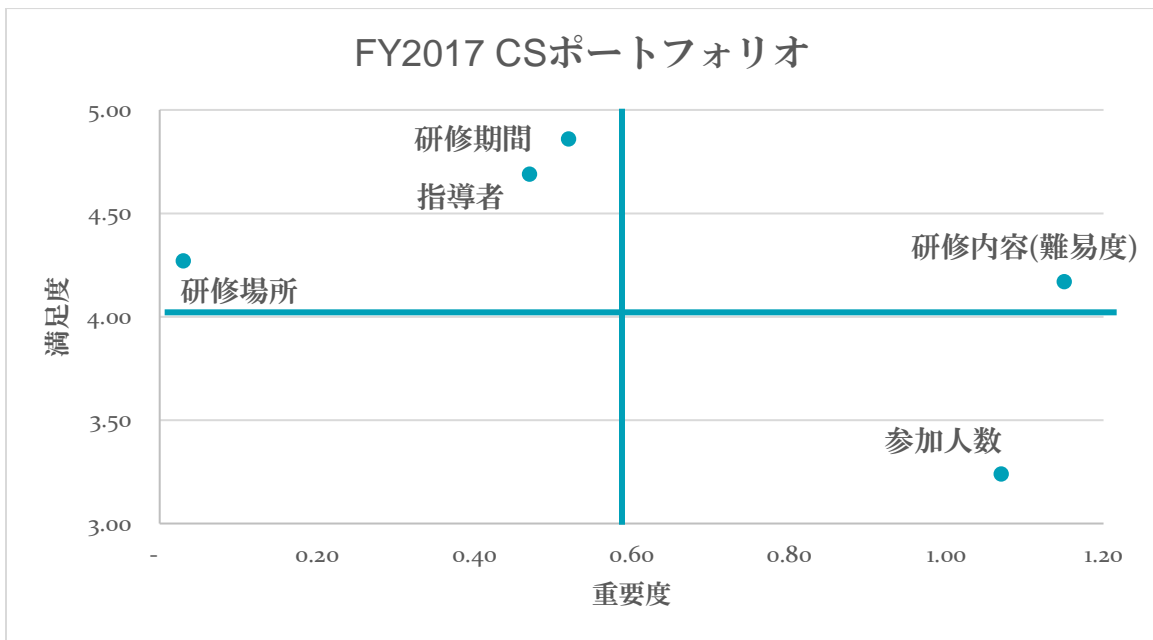
- i. 総合満足度：昨年の 3.79 から本年は 4.42 へと 0.63 ポイントアップ(5点満点)
- ii. 重要度：昨年は「研修内容(難易度)」と「指導者」の2項目の相関が強く、本年は「研修内容(難易度)」と「参加人数」の2項目の相関が強いという結果

		研修内容	参加人数	研修期間	研修場所	指導者	総合満足度
FY2016	重要度	0.78	0.22	0.02	0.12	1.13	3.79
	満足度平均	3.64	4.21	4.47	3.33	3.18	
FY2017	重要度	1.15	1.07	0.52	0.03	0.47	4.42
	満足度平均	4.17	3.24	4.86	4.27	4.69	





FY2016: 重要改善エリア(右下)にプロットされたのは、「研修内容(難易度)」と「指導者」の2項目。指導者スキルの改善が一番の課題であり、この課題を解決することで研修生が感じる研修の難易度も下げることができると推察された



FY2017: 昨年、重要改善エリア(右下)にプロットされていた「研修内容(難易度)」と「指導者」の2項目はそれぞれ重点維持エリア(右上)と維持エリア(左上)に移動(指導者スキルアップ研修の成果)。本年、重要改善エリア(右下)にプロットされたのは、「参加人数」の1項目のみ。平均研修参加人数は約23名であり、人数を若干減らし、一研修生への対応時間を増やすことで、全体の満足度を向上させることができると推察される

## 10.活動写真



製糸研修風景 (糸紡ぎ)



製糸研修風景 (染色)



研修生が作成した糸 (1)



研修生が作成した糸 (2)



納品先の商品 (1)



納品先の商品 (2)



製紙研修風景 (解繊・攪拌)



製紙研修風景 (紙漉き)



皮むき後の乾燥こうぞ



研修生が作成した紙



研修生が作成したふりかけ



販売ノウハウ研修風景